

令和元年度 小林市立東方中学校 自己評価及び学校関係者評価書

4段階評価（4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する）

学校経営 ビジョン		行動目標「ICTを駆使した総合力の実践」 東方イノベーション～未来を見据えた改革～					
項目	本年度の重点目標と目標達成のための手段	数値目標	結果の考察・分析及び改善策等	自己評価		関係者 評価	学校関係者評価のコメント
				項目	総合		
知育	確かな学力の習得	○ ICTを効果的に活用した総合力の育成（わかる授業、個別指導）	○ ICTに関連した研修会への、一人1研修会の参加。	○ 本年度は、パナソニック教育財団の研究指定校として3回のアドバイザー訪問を実施。それを受けて研究授業や一人1研修会の出会を実践してきた。今後も、さらに研修を重ねて、学力向上につながるようにICTを効果的に活用していきたい。	3.8	3.1	3.3
		○ 定着を高めるためのWeb学習単元の効果的活用	○ 一人1研究授業の実施 ○ Web学習単元活用100%	○ 週末課題や休業中の課題などで苦手克服に繋げているが、教科によって課題の量に差があり負担となっている生徒もいる。	2.7		
		○ 基礎基本を中心とした朝学習や週末課題の工夫と弱点補強	○ 週末課題の完全実施。	○ 「授業が分かりやすい」の生徒評価は92%の支持を得ている。きめ細やかな個別指導や効果的なICT活用など、今後も取り組んでいきたい。	3.3		
		○ 学び態度75%（目標・楽しい・社会への関心・役立つ）	○ 各種テストへの積極的対応（全国・県平均以上、各種検定合格率70%） ○ 分かりやすい授業の項目90%	○ 現在53名中、英語検定39名、漢字検定36名の資格取得状況である。今後も検定取得を呼び掛けていきたい。	2.5		
		○ 積極的な資格取得・・・一人1資格習得	○ 毎週火・水の昼休みは読書の日。 ○ 毎週の言語トレーニングの実施	○ 読書活動に関しては、国語科と図書協力の協力を得て充実させてきている。家庭での読書もさらに呼び掛けていきたい。	3.7		
徳育	豊かな心の育成	○ 課題解決のための道徳科の完全実施と全職員授業100%	○ 学年担当職員で100%の実施。 ○ 事後の道徳通信の配信	○ 道徳は、各学年とも全職員で毎週実施し、道徳通信、学級通信や西諸人権教育を通して各家庭とも連携している。引き続き生徒の育成を図っていく。	3.8	3.6	3.4
		○ 体験活動を通した思いやり教育 ※福祉体験、花いっぱい運動	○ 思いやりがあり、礼儀正しい行動ができる。の項目90%以上	○ 思いやりがあり、礼儀正しい行動ができるの項目が、生徒、保護者ともに90%以上の支持がある。	3.5		
		○ 主体的生徒会活動の育成・・・ABC運動、青少年赤十字活動	○ 毎月の支援学校中学部との交流給食や芸術活動等での相互参加。	○ 本年度も、花いっぱい運動で、区長・民生委員の方々の御協力地域で一人暮らしの高齢者宅に花を届けることができた。	3.3		
		○ 支援学校との積極的関わり・・・ふれあい交流、三校合同職員会	○ 不登校に関する項目が90%以上	○ 支援学校ともふれあい交流や、鑑賞教室、各種訓練など合同で開催できた。	3.5		
		○ 健全な人間関係の構築（いじめ・不登校ゼロ運動）	○ いじめや不登校の生徒を絶対出さない、ゼロ運動を実施する。	○ 不登校に関しては、現在はない。しかしながら、常に保護者や関係機関との連絡を取り合っている。	3.3		
		○ 企業等を活用したキャリア教育の推進・・・年間10件	○ 外部講師を招聘してのキャリア教育の講演会の実施年10件	○ 職場体験学習や福祉施設訪問、立志式の講演などを通して多くの方や企業の方にご協力いただくことができた。	2.9		
体育	健康な体づくり	○ 保健体育の授業をととした基礎体力の向上	○ 進んで運動し、体育的行事（運動会等）が充実しているの項目が85%以上	○ 進んで運動し、体育的行事（運動会等）が充実しているの項目は、生徒87%、保護者92%の支持を受けている。	2.9	3.1	2.9
		○ 体育的行事等の充実	○ 部活動の充実度に関する項目が80%以上	○ 体力テストでB判定以上の生徒が40名以上	2.9		
		○ 体力テストの結果を基にした「体力づくり運動」の実施	○ 体力テストでB判定以上の生徒が40名以上	○ 自力登校については、学校の前や中まで送ってくる家庭があったので、PTA総会や学校参観日、各種通信、リーフレットなどあらゆる機会を通して呼びかけた。	3.5		
		○ 自力登校の推進	○ 自力登校100%を目指し、校区外の生徒についても、途中降ろしてもらおうよう呼びかける。	○ 部活動に関する項目では、生徒、保護者ともに80%の支持を得ているが、年々減少している生徒数や職員構成や専門性を考えると今後の部活動の運営の在り方が課題である。	2.9		
		○ 日常的な立腰指導	○ 健康な生活に関する項目が90%以上	○ 健康な生活に関する項目では、生徒98%、保護者77%。また学校保健委員会で生活習慣病について講話をしていただいた。保健日より等でも啓発していきたい。	3.0		
		○ 学校保健委員会や専門家による自己意識の向上	○ 健康な生活に関する講話を実施する。	○ 肥満率は9%であったが、虫歯の治療率が14人中7人(50%)にとどまっているので、あらゆる機会でも呼びかけていきたい。	3.0		
		○ 各種治療率・・・85%（虫歯ゼロ、肥満率10%）	○ 学校体育実技サポーター派遣事業を活用する。	○ 本年度は、保健体育の時間に、市内にあるBFORMATIONより講師を招いて、ダンスの授業を計10時間指導していただいた。	3.2		
食育	食育の推進	○ 食育便りの発行 ※月1回発行、年2回小中合同で発行	○ 食育便りの月1回、小中合同の食育便り年2回の発行 ○ 食への関心の評価 90%	○ 食育だよりや保健だより等を発行し、食育の充実を図っている。小中合同の食育便りを発行した。	3.0	3.1	3.3
		○ 「食の贈り物in夏休み」の実施・・・家庭との連携	○ 「食の贈り物in夏休み」を今年度も実施した。	○ 生徒の手作り弁当の日を実施している。3月に3回目を実施予定であったが、臨時休業により実施できていない。	3.0		
		○ お弁当の日の実施・・・年間3回以上	○ 家庭科の調理実習で郷土料理をつくる。	○ 「あくまき」「いこもち」の郷土料理を、地域の方にゲストティーチャーとなって実施することができた。	3.0		
		○ 地域人材を活用した地産地消・・・年3回以上実施	○ 食の大切さについての講話を実施。	○ 給食センターより講師を招いて、食に関する講話を実施した。残菜はほとんどなくバランスの良い食事がとれている。	3.5		
		○ 給食センターとの連携（講話・残食ゼロ）	○ 参観日・懇談会が充実しているの評価 90% ○ PTA行事への積極的参加の項目 90% ○ 社会福祉協議会が主体となったオープン図書館の実施。	○ 定期的に学校だよりや学級通信などの発行し、家庭との連携を図っている。また、学校ホームページを随時更新し、地域への情報公開を推進している。	3.5		
その他	信頼される学校づくり	○ 学校と家庭・地域の連携	○ 参観日・学級懇談の充実	○ 参観日の内容についても95%の保護者から高評価を得ている。更に充実していくよう取り組みたい。	3.5	3.5	3.6
		○ 職員のPTA主催事業と地域行事への協力と積極的参加	○ 年間3回の実施。	○ 熊野神社灯籠まつり、高山盆踊り、陰陽石まつり、こばやし秋まつり等に生徒や職員が積極的に参加した。生徒や保護者から90%以上の良い評価を得ている。	3.5		
		○ 学校運営協議会の充実 ※年間3回実施	○ 本年度は、輪太鼓踊りのキャラクター「輪太鼓くん」が登場し、今後の活躍が期待できる。				

次年度の方向性についての校長所見

(1) 知育 = 確かな学力の習得・・・ICTを積極的に活用し指導力を向上させる。小中合同研を柱に、主題研究を進め「学力向上のためのICT活用の在り方」を継続して研究する。次年度は、パナソニック教育財団の研究指定2年目にあたり、更なる充実した研究を継続し、小林市内外へ成果を発表できるように取り組む。

(2) 徳育 = 豊かな心の育成・・・道徳科の授業を中心として、全職員で道徳教育の充実を図る。また、人権教育の充実を図り、「いじめゼロ」「不登校ゼロ」の楽しく、充実した学校づくりを目指す。

(3) 体育 = 健康な体づくり・・・新体力テスト結果を分析し、体育の授業、体育的行事、部活動等を通して、意図的、計画的に体力の向上を図り、生涯にわたって運動やスポーツに親しむ態度を育成する。

(4) 食育 = 食育の充実・・・家庭科の授業や給食活動を通した食に関する指導の充実を図り、「弁当の日」などの取組を通して、家庭や地域と連携しながら食育指導を積極的に推進する。

(5) その他 = 信頼される学校づくり・・・学校の教育活動を広く公開するとともに、職員の地域行事・PTA行事への積極的な参加を継続する。定期的な各種便りの発行や学校運営協議会を通して、地域の人たちに学校の教育活動を知ってもらい、家庭や地域の願いを十分に受け止めた開かれた学校づくりに努める。東方地区まちづくり協議会や東方輪太鼓踊り保存会と共同で地域の伝統・文化の伝承に努める。